

2018年（平成30年）10月17日

輸送動向について（平成30年度上半期）

1. 輸送概況

上半期は、6月の大阪府北部地震、7月の平成30年7月豪雨、8月から9月にかけて接近した台風20・21・24号および9月の北海道胆振東部地震の影響等により、高速貨4,929本、専貨78本が運休となった（前年は、高速貨675本、専貨8本が運休）。特に平成30年7月豪雨では中国・四国地区で多数の線路災害が発生し、山陽線・予讃線・伯備線が不通となった。山陽線ではトラック・船舶による代行輸送および伯備線・山陰線・山口線を經由した迂回運転を実施した。

コンテナは、山陽線不通の影響により、積合せ貨物、自動車部品、食料工業品等で九州向けの発送が大きく減送となったほか、紙・パルプ、化学工業品、化学薬品は中国・九州地区を拠点とする工場からの発送が滞るなど、相次いで発生した災害の影響を受け、すべての品目で前年を下回った。その結果、コンテナ全体では前年比84.3%となった。

車扱は、石油が各地で観測史上最高気温を記録する等、夏季の気温が非常に高く推移したことに伴い、ガソリンの消費量が増加し、好調な荷動きとなった。またセメント・石灰石の需要堅調に伴い増送となった。その結果、車扱全体では前年比100.4%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比88.6%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、%）

種別 扱別	上半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	9,268	10,995	84.3%
車扱	3,976	3,962	100.4%
合計	13,245	14,957	88.6%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、%）

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	707	848	-141	83.4%
	化学工業品	859	1,044	-184	82.3%
	化学薬品	600	725	-125	82.8%
	食料工業品	1,700	1,951	-250	87.2%
	紙・パルプ	1,199	1,480	-282	81.0%
	他工業品	672	791	-119	84.9%
	積合せ貨物	1,191	1,389	-197	85.8%
	自動車部品	336	421	-85	79.7%
	家電・情報機器	183	220	-37	83.2%
	エコ関連物資	208	244	-36	85.1%
	その他	1,613	1,883	-270	85.7%
	コンテナ計	9,268	10,995	-1,727	84.3%
車扱	石油	2,620	2,603	17	100.6%
	セメント・石灰石	664	632	31	105.0%
	車両	389	397	-8	98.0%
	その他	304	330	-26	92.3%
	車扱計	3,976	3,962	14	100.4%
合計	13,245	14,957	-1,712	88.6%	

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）